

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 21 年 5 月 7 日 (2009.5.7)

【公表番号】特表 2008-537602 (P2008-537602A)

【公表日】平成 20 年 9 月 18 日 (2008.9.18)

【年通号数】公開・登録公報 2008-037

【出願番号】特願 2008-503032 (P2008-503032)

【国際特許分類】

G 0 3 B 21/00 (2006.01)

G 0 2 B 5/30 (2006.01)

G 0 2 B 27/28 (2006.01)

G 0 2 F 1/1335 (2006.01)

G 0 2 F 1/13363 (2006.01)

G 0 2 F 1/13 (2006.01)

【 F I 】

G 0 3 B 21/00 E

G 0 2 B 5/30

G 0 2 B 27/28 Z

G 0 2 F 1/1335

G 0 2 F 1/13363

G 0 2 F 1/13 5 0 5

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 3 月 10 日 (2009.3.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

光ビームを透過する第 1 の面および第 2 の面を有する第 1 のカバー、

光ビームを透過する少なくとも第 1 の面を有する第 2 のカバーであって、その第 1 の面が前記第 1 のカバーの前記第 1 の面に対向するように配置された第 2 のカバー、および

前記第 1 のカバーの前記第 1 の面と前記第 2 のカバーの前記第 1 の面との間に配置された反射性偏光層、

を含む偏光ビームスプリッタ ( P B S ) と、

前記第 1 のカバーの前記第 2 の面の近傍に配置された 1 / 4 波長位相遅延素子であって、前記第 1 の面と第 2 の面との間で、前記第 1 のカバーを 2 度通過する光に対する前記第 1 のカバーの複屈折の補償を実質的に最大にするように整列されている 1 / 4 波長位相遅延素子と、

を含む光学ユニット。

【請求項 2】

前記第 1 のカバーが、( a ) 1 . 8 以下、( b ) 1 . 7 以下、および ( c ) 1 . 6 以下から選択される屈折率を有するガラスを含む、請求項 1 に記載のユニット。

【請求項 3】

応力光学係数が、( a )  $0 . 1 \times 10^{-6} \text{ mm}^2 \text{ N}^{-1}$  超、( b )  $0 . 5 \times 10^{-6} \text{ m}^2 \text{ N}^{-1}$  超、および ( c )  $1 . 0 \times 10^{-6} \text{ mm}^2 \text{ N}^{-1}$  超から選択される、請求項 1 に記載のユニット。

## 【請求項 4】

前記反射性偏光層が多層ポリマー光学フィルムを含む、請求項 1 に記載のユニット。

## 【請求項 5】

前記第 1 のカバーの前記第 2 の面から前記 1 / 4 波長位相遅延素子を通過する光路に配置された像形成デバイスをさらに含み、前記像形成デバイスが反射型液晶像形成デバイスを任意に含む、請求項 1 に記載のユニット。

## 【請求項 6】

前記第 1 のカバーを 2 回通過する光が受ける複屈折、ならびに前記像形成デバイスの残留複屈折を少なくとも部分的に補償するように前記 1 / 4 波長位相遅延素子の速軸の方位角が選択される、請求項 5 に記載のユニット。

## 【請求項 7】

前記 1 / 4 波長位相遅延素子と前記反射性偏光層との間に配置されたレンズをさらに含む、請求項 1 に記載のユニット。

## 【請求項 8】

前記第 1 のカバーが実質的に鉛を含まないガラス材料で形成される、請求項 1 に記載のユニット。